

## 内 科 学 (2)

教 授 杉 本 恒 明  
助 教 授 水 村 泰 治  
助 手 浦 岡 忠 夫

### 1. 研究概要

内科学，とくに循環器病学(杉本，浦岡)，腎臓病学，水・電解質代謝(水村)の分野での診療と研究に従事している。

循環器病学としては不整脈と循環動態に関する研究が主体となっている。不整脈についてはその電気生理学的機序と，これに対する自律神経・薬物の影響を実験的・臨床的に検討している。循環動態に関しては，循環諸量の変動に使う心臓機能の変化をさまざまな病態にある心臓について観察し，これに関連して冠循環調節，うっ血性循環不全の要因を検討している。

腎臓病の病態生理学的研究としては急性腎不全および慢性腎不全のCa, Mg, P, cyclic AMP 代謝について検索し，また，諸種尿管障害腎や間質性腎炎における病態生理の解明を試みている。

### 2. 学会発表 省略

### 3. 刊行論文・著書等(昭和52年4月以降)

1) 杉本恒明：発作性上室性頻拍，内科，**39**(4)：566, 1977.

2) 杉本恒明：不整脈の薬物療法。a) 刺激生成異常，内科，**39**(6)：1091, 1977.

3) 杉本恒明：うっ血性心不全の病態生理，臨床看護，**3**(7)：897, 1977.

4) 杉本恒明：頻拍の臨床成人病**7**(6)：847, 1977.

5) Sugimoto, T., Inasaka, T., Kaseno, K., Uraoka, T., Watanabe, H., Ishikawa, T. and Kontani, K.: Clinical and experimental study of the usefulness of the ventricular overdrive test in complete AV block. Cardiac Pacing, ed. by Watanabe, Y., p. 148. Excerpta Medica, Amsterdam, 1977.

6) 杉本恒明：狭心症の予後、永野充他編，「内科診療 Questions & Answers」472頁，六法出版，東京，1977.

7) 武内重五郎，谷口興一，石川兵衛，杉本恒明，

斧田大公望：動脈硬化症に対するCJ-300(Cyclomon)の臨床効果—並列群間・二重盲検法による多施設臨床試験。薬物療法，**10**(8,9)：1999, 1977.

8) 杉本恒明：内科領域における救急療法，発作頻拍症。内科**40**(4)：623, 1977.

9) 杉本恒明、心包炎治療のコツ，MRC-flash。**3**(10)：2, 1977.

10) 杉本恒明，紺谷一浩：カリウム・カルシウムと心電図，上田英雄編「心電図へのアプローチ」P145，日本メルク万有，東京，1977.

11) 杉本恒明：心不全の治療(1)心拍数コントロールの意義，呼吸と循環**25**(8)：718, 1977.

12) 杉本恒明：心不全の治療。(2)静脈還流量コントロールの意義，呼吸と循環，**25**(10)：933, 1977.

13) 安部俊男，木田寛，飯田博行，西村邦雄，浅野喜博，藤岡正彦，土肥和紘，中本安，水村泰治，服部信：諸種腎疾患とIgE との関係について，最新医学，**32**(9)：1726, 1977.

14) Kida, H., Iida, H., Dohi, K., Nakamoto, Y., Mizumura, Y. and Takeuchi, J.: Period of freedom from relapse as an indication of cure in minimal change nephrotic syndrome in adults. Nephron **19**(1)：153, 1977.